

## 牧場実習にて

今回は先日 5 月 23～25 日の 3 日間に牧場実習させていただいた伏見牧場について紹介します



### 平成 18 年に新築された牛舎

現在約 300 頭の搾乳牛がフリーストールで飼育されています

### 20 頭複列の平行パーラー

1 回の搾乳ごとに丹念に清掃され非常に清潔に保たれていました



分娩直後の牛は獣医師免許もお持ちの伏見さんが健康状態をチェックし、必要に応じて治療されます

実習中は私にも搾乳をさせていただきましたが、私が一頭ミルクカーをセットする間に従業員の皆様は三頭も四頭もセットされるほどの手際の良さで、足手まといにならないよう必死でした。

### ● 戻し堆肥（糞尿のリサイクルシステム）

伏見牧場では敷料に戻し堆肥を使用されていました。右図のハイドロモンスター（全自動発酵攪拌機）がオガクズで水分調節された糞尿を堆肥化します。この機械で熟成された堆肥が効率よく（約 45 日で）産生され敷料として用いられることで大腸菌性等の乳房炎が減少できますし、糞尿処理に対する環境にもやさしいシステムです。

### ● 生乳による子牛の育成

子牛の哺育ではパステライザーを用いて母乳を 60℃30 分で低温加熱し、ヨーネ菌・牛白血病ウイルス・サルモネラ菌・大腸菌などを殺菌することで下痢やその他の疾病リスクを低減し、栄養豊富な生乳で子牛を健康に育成されていました。

### ● キツネによる被害

このように様々なものを取り入れ実践されている伏見牧場ですが、近頃分娩直後の子牛や分娩中の母牛がキツネに襲撃される被害が相次いでおり、なかなか良い対策が見つからず伏見さんも頭を抱えていました。他の農家の皆様でも何かキツネ対策に良い方法がございましたらぜひご一報ください。



ハイドロモンスター



パステライザー

最後となりましたが、今回の実習では伏見ご夫妻を初め、従業員の皆様に大変お世話になり心より感謝いたします。3 日間という短期間の実習ということで搾乳から子牛の世話、エサのことなど様々なことを勉強、体験させていただき本当に良い経験ができました。今後この経験が活かせるようより一層努力する所存です。ありがとうございました。



先日会社の「牧場実習」のため、西春別にある石坂牧場さんに3日間泊まり込みでお世話になりました。今回はその実習について書かせて頂こうと思います。

一日目

搾乳作業が朝4時半から始まるということで3時半に起き、T H M S事務所から石坂さんのお宅へ、緊張しながら牧場に入ると石坂さんを含め従業員の皆さんが温かく出迎えてくれた。さっそく搾乳作業について説明を受ける。

搾乳指導は石坂さんの息子さんの巧さんがしてくれた。

大体大まかな流れは

- ① 牛をパーラーに入れる
  - ② 前搾りを行う
  - ③ 乳頭に消毒用の泡を付ける
  - ④ 軽く時間をおいてから乳頭を乾いた布で拭く
  - ⑤ ミルカーの装着を行う
  - ⑥ ミルカーがはずれたら乳房の状態を確認し、もう搾れないと判断したらディッピングを行い牛を出す。
- 説明を受けた段階では自分でも出来そうな気がするが実際やってみるとその大変さを痛感する。



石坂牧場のアプレストパーラー  
8頭ダブル

石坂さんのお宅には約250頭の搾乳牛がいて、それらを搾り終えるのに大体4時間程度かかる。4時間の間、中腰になったり立ち上がったりを繰り返していると不慣れな自分では足や腰が早い段階で痛くなって来る。また前搾りやミルカー装着も従業員の方たちよりも全然遅く、目標が「少しでも石坂さんたちの力になりたい」から「少しでも邪魔にならないようにしなきゃ」と下方修正されていくのを感じた。巧さんが「慣れていないと大変ですよ」とフォローしてくれた。本当に申し訳ないです。

搾乳が終わるとパーラーの清掃が行われる。みなさんがキビキビ働いている中、僕は1人何をしていたかわからずオロオロしている。そんな心中を察してくれたのかさんが「エルヴィン、教えてやってくれ」と…本当に何から何までありがとうございます。フィリピン人のエルヴィン君に指導を受け、なんとか朝の作業を終える。

他に仕事があったら見学させて貰いたいと石坂さんに聞いてみたところ「2時半に餌やりがあるからそれまでくつろいでいてくれ」とのこと、なので空いた時間に牧場内を見学させてもらった。石坂牧場には今建設中の新牛舎があるらしいのでそれも拝見させて頂いた。



建設中の新牛舎  
半分以上が手作り

その後、2時半になり餌やりの時間になった。見ていると従業員のみなさんや巧さんやそのお兄さんの英明さんみなさん重機を乗り回し見事な連携で餌を作成・給餌を行っている。とてもではないが自分に手伝える事は無いと思い、その場は完全に見学に戻らせて頂いた。

夕方の搾乳も終わり、一日目を終えた。一日目にして腰と足の痛みが甚大だった。

## 二日目

多少の筋肉痛をかかえつつも無事二日目を迎えることになった。昨日一日を通して搾乳作業をさせてもらい、少しは作業もスムーズに行えるようになってきた。

巧さん「慣れてないとやっぱり前搾りはうまくできないですね。」

…すみません、慣れてきたというのはやっぱり勘違いだったみたいです。

昨日と同じように朝の搾乳を終え、昼の餌やりを迎えた。エルヴィン君が残飼の片づけをしていたり、もう一人のフィリピン人の研修生のクリス君がパーラーの掃除をしているのを見て、その作業を手伝わせてもらった。しかし重機を使う作業になると相変わらず手が出せないなのでこの日も主に見学にまわることとなった。

餌やりを終え、夕方の搾乳作業も終え、二日目が終わった。相変わらず作業も遅く不慣れな自分はこの日も体中に痛みを感じながら就寝することになった。

## 三日目

三日目ともなるともう手慣れたもので搾乳作業を楽々こなす。というわけにはもちろんいかず、むしろ日に日に強力になっていく筋肉痛に苛まれながら作業に没頭する。朝の搾乳が終わり、「よし、ちょっと休める。」と思っていると、こんな話が聞こえてくる

「クリス達今日洗車だっけ？」

何の話か尋ねてみると、彼らは牧場作業の空いた時間を使い他にアルバイトをしているらしい。二日間の搾乳を終えただけで体が悲鳴を上げている自分と比べて彼らの行動力にただただ敬服させられた（同時に軽い無力感を覚えた。）

そうしてその後も昨日までと同様に餌やり、夕方の搾乳を終え三日間の短かったようで短かった実習期間が幕を閉じた。

## 最後に

終始、自分に指導をしてくださった石坂さん夫妻、英明さん、巧さんをはじめ、御家族、従業員のみなさん、短い間でしたけど本当にありがとうございました。石坂さんの奥さん、ご飯本当においしかったです。石坂さんのお宅はみなさんとても暖かく、まるで別海での自分の実家のように思えました。

これから先仕事を続けていくにあたって、今回得られた経験を活かし、少しでも「あの時実習させておいて良かった」と思っただけのよう邁進致します。これからもお世話になることは多々あるでしょうが何卒よろしく申し上げます。